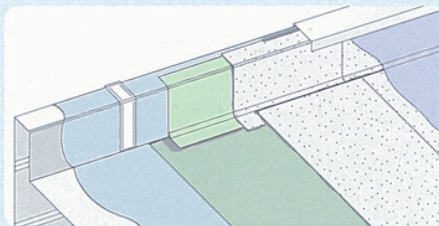
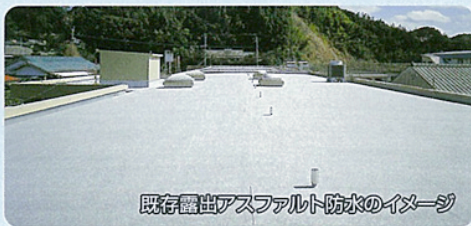


防水層のメンテナンスを行いながら、不具合箇所を早期に発見することが建物を長持ちさせる秘訣です。皆さまの建物の屋上がどのような劣化状況か、下のチェックリストで診断してみてください。

Check 2

現状が『露出アスファルト防水面』の場合



Q1 防水改修を行わず、13年以上経っている。

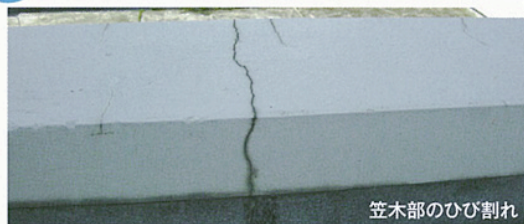
Q6 床面や立面の防水にふくらんでいる箇所がある。一部では水が入っているところもある。

Q2 現在雨漏りが発生している。



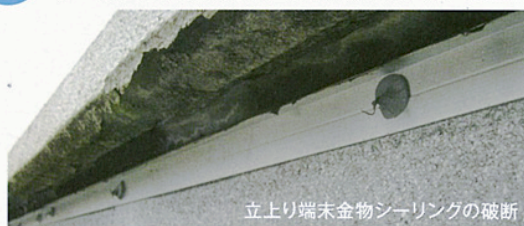
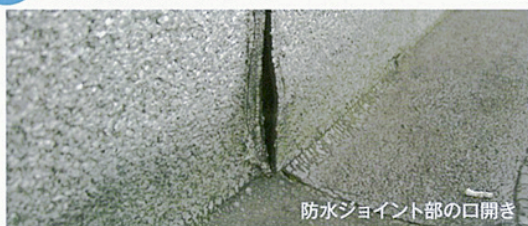
Q3 防水層が破れている。

Q7 外周の腰壁面（立上り面）の上面（笠木面）にひび割れが見られる。



Q4 防水の重ね合わせ部分（ジョイント）に隙間が開いている。

Q8 防水立上り端末金物上部のシーリングが硬化している。破断している。



Q5 水溜りが著しい。植物の生育が見られる。

Q9 ドレイン部に防水破断が見られる。



判定

- ◆ チェックが1～2項目……点検・清掃をしながら、経過を観察しましょう。
- ◆ チェックが3～4項目……要注意です。専門家に防水診断を依頼しましょう。
- ◆ チェックが5項目以上……防水改修の必要性が高いと思われます。改修計画の立案を検討しましょう。